

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

第 1 推薦	116 日本文教出版
第 2 推薦	2 東京書籍

小学校 社会 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	見開きごとにタイトルの左横に「つかむ」「しらべる」「まとめる」の学習過程とともに、「どのような～でしょうか」などの問いかけの形態で学習内容・方法に関する問題を提示している。
	観点 2	「まなび方コーナー」を具体的な学習場面に合わせて配列し、学習技能を身に付けさせるとともに問題的解決的な学習を進めることができるようにしている。
	観点 3	比較や発展、補充など、柔軟な扱いが可能な「ひろげる」を各学年に充実された構成になっている。また、資料には見開きごとに通し番号が付けてあり、指示しやすいように工夫されている。
	観点 4	「めあて」の欄を設け、単元での学習のねらいを示している。また、「学び方コーナー」「学びのポイント」「話し合おう」「ことば」等の欄を設けて児童の学習を支援している。
	観点 5	各単元の「学習のまとめ」では、その単元で学んだ「ことば」を活用して、わかったことや自分の考えを説明・論述したり、作品にまとめたりする言語活動を多様に例示している。
17 教出	観点 1	見開きごとに学習の内容・方法等を提示し、タイトルの左横に「～はどのようにすればよいだろう」などの問いかけの形で問題を提示している。
	観点 2	大単元の導入において、見開きページ構成により、写真を使用した児童の学習活動の様子などで、具体的な社会的事象を提示している。
	観点 3	学習指導要領で選択して取り上げることとされている内容を、複数の中から選んで活用できるようにしている。「もっと知りたい」は、意欲や関心に応じてさらに広く、深く学習するときに活用できるようにしている。
	観点 4	「学んでいこう」の欄を設け、単元での学習のねらいを示している。また、「学びのてびき」「活動」「やってみよう」「キーワード」「かいせつ」等の欄を設けて児童の学習を支援している。
	観点 5	根拠を明らかにして考えを文章に書き表す。キーワードを使って文章にまとめる等、学習の流れに応じた言語活動を通して、思考し表現する場面を設けている。

38 光村	観点1	タイトルで学習内容・方法等を提示し、ページの上部に「見つける」「調べる・話し合う」「まとめる・広げる」学習過程と共に『どんな～でしょう。』等の問いかけの形態で提示している。
	観点2	巻頭に「ようこそ社会科へ」「教科書をヒントに、学習を進めよう」のコーナーがある。「ホップ・ステップ・ジャンプ」の流れで配列し、学習技能を身に付けさせるとともに問題解決的な学習を進められるようにしている。
	観点3	5年と6年の教科書をそれぞれ一冊にまとめ、既習したことを利用できるようにしている。「歴史」「政治」「国際」を、「今」を基点とした一連の流れでとらえ、学んだことを振り返りながら学習することができるようにしている。
	観点4	「クラスの学習問題」という欄を設け、単元での学習のねらいを示している。また、「たいせつ」「ことば」の欄を設けて、児童の学習を支援している。
	観点5	学習展開において、互いの考えを深め合うための話し合い活動を重視している。
116 日文	観点1	学習内容・方法を見開きごとに提示し、タイトル左横に『どんな～だろう』『～理由は何だろう』等の問いかけの形態で問題を提示している。
	観点2	巻頭に「この教科書のしくみ」コーナーを設けている。「学び方・調べ方」コーナーを学習場面に合わせて配列し、学習技能を身に付けさせるとともに問題解決的な学習を進めることができるようにしている。
	観点3	ワイド判で迫力ある写真や資料になっている。児童の発展的な学習への対応として多様な教材を例示する「大きくジャンプ」を掲載している。
	観点4	「学習のまど」の欄を設け、単元での学習のねらいを示している。また、「学び方・調べ方コーナー」「キーワード」「むずかしい言葉」「考えるヒント」等の欄を設けて児童の学習を支援している。
	観点5	各単元末に設定した「ふりかえってみよう」では、学んだことを表現物にまとめ、話し合うことで、子ども一人一人の見方・考え方がより確かなものになるようにしている。